



新座中だより

令和3年度5月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号

電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131

新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

思春期の子どもと向き合う

校長 高橋 利明

今年もまだまだ暑くなりそうです。新型コロナウイルス感染症対策は引き続きおこなっておりますが、熱中症対策も必要な季節になりました。皆さま、水分をしっかりと摂りましょう。どうぞお気を付けください。

さて、だいぶ前に新座中学校第11代校長の遠藤良宏先生が、ある中学校の「子育て講演会」で、「思春期の子どもと向き合う」という演題のもと、示唆に富んだお話をされておりました。「人の親ほど最も自然にして最も公的な教育者はいない。」という言葉引用され家庭教育の重要性和責任についてお話をされておりました。

さらに、家庭教育で最も重要なことは、基本的な生活習慣を身につけさせることであり、学習成績とも深く関係するというお話でした。

具体的には…

- (1) 家庭であいさつをさせているか
- (2) 正しい言葉遣いができるか
- (3) 家事の手伝いをさせているか
- (4) 睡眠を十分とらせているか
- (5) 食事(特に朝食)をしっかり摂らせているか
- (6) TV、TVゲーム等の時間的制限をしているか

以上6点について、具体例をあげながらお話がありました。是非実践をしてみてください。

さらに家庭教育で大切なことは、親子間での心のふれあいが大切であるというお話でした。特に、そのためには、上手なほめ方が必要で、絶対肯定(人との比較でほめる)ではなく、絶

対肯定(その子どもの中で伸びたこと、努力したことをほめる)が効果的であるということでした。また、結果ではなく、そこに至るまでの過程を褒めるとよいそうです。

いずれにしても、その子どもが親に大切に育てられていることが、実感として伝わる子育てが重要であるということです。そういえば、「あまやかすこと」と「あまえさせること」は似て非なることであるという話をどこかで読んだことがあります。愛情を持って時にはあまえさせ、親の愛情を注ぎ込む。そして、あまやかすことはしないという子育てが秘訣のようです。難しいことですが、ぜひ参考にしてみてください。

スクール・サポーターさんが着任

埼玉県では、学校の要請に基づいて埼玉県警察スクール・サポーターを派遣し、学校の状況をより良くするシステムがあります。要請しても、なかなか順番が回ってこないのですが、この5月中旬ごろから、2名のスクール・サポーターさんが本校に着任いたします。

スクール・サポーターの皆さんは、校内外のパトロール、生徒への問いかけ活動を通じて、悩みや相談や問題の解決への指導・助言に学校と連携を取って進めていただけます。埼玉県警察少年課に籍を置いていますが、学校の強力な応援団としてしばらくお世話になります。廊下などで会ったら、きちんと挨拶をしてほしいと思います。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」